

支援機器等教材活用実践事例フォーマット

実践年度・タイトル		令和（ 3 ）年度
		自分の思いや考えを伝えるためにPC(パワーポイント)を用いる
授業について	教科名等	☐ 国語 ☐ 社会 ☐ 算数/数学 ☒ 理科 ☐ 生活 ☐ 音楽 ☐ 図画工作/美術 ☐ 家庭/技術・家庭 ☐ 体育/保健体育 ☐ 特別の教科 ☐ 道徳 ☐ 外国語/外国語活動 ☐ 総合的な学習の時間 ☐ 特別活動 ☒ 自立活動 ☐ 各教科等を合わせた指導 ☐ その他の教科 ☐ その他(生活・身辺自立・行動の切り替え) 教科の内容を取り扱いながらの自立活動
	単元・題材名	「アボカドの成長観察」
	授業の目標	「アボカドの成長観察」の発表資料を作成することを通じて、自分の思いや考えなどを伝える手段を学ぶ、
	学力の3要素	☐ 「知識及び技能」 ☒ 「思考力・判断力・表現力等」 ☒ 「主体的に学習に取り組む態度」
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	☐ 通常の学級 ☒ 通級による指導 ☐ 特別支援学級 ☐ 特別支援学校 ☐ 就学前 ☐ 小学生 ☒ 中学生 ☐ 高校生以降 ☐ 特定されない ()年 ()人
	対象の障害	☐ 視覚障害 ☐ 聴覚障害 ☐ 知的障害 ☐ 肢体不自由 ☐ 病弱・身体虚弱 ☐ 言語障害 ☒ 自閉症 ☐ 情緒障害 ☐ LD(学習障害) ☐ ADHD(注意欠陥/多動性障害) ☐ その他
	子供の困難さ	☐ 見ること ☐ 聞くこと ☐ 話すこと ☐ 読むこと ☐ 書くこと ☐ 動くこと ☒ コミュニケーションをすること ☒ 気持ちを表現すること 落ち着くこと・集中すること ☐ 概念(時間、大きさ等)を理解すること ☐ 学習(計算、推論等)すること ☐ その他
支援機器等教材の活用につ	活用の意図	Aコミュニケーション支援(☒ A1意思伝達支援 ☐ A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(☐ B1情報入手支援 ☐ B2機器操作支援 ☐ B3時間支援) C学習支援(☐ C1教科学習支援 ☐ C2認知発達支援 ☐ C3社会生活支援) D実態把握支援(☐ D1実態把握支援) 対象生徒はコミュニケーション力が弱く、特に表出活動に困難がある。また漢字の書字が苦手である。一方、生徒は、理科が好きである。生徒の強みを生かし、植物を育て観察し、PCに記録する活動を通じ、他者との興味を共有し、コミュニケーション力や関係性を高めてきた。そこで、こうした生徒の特徴を踏まえ、次の展開として、PCやパワーポイントを用いて「アボカドの成長観察」の発表資料を作成する課題を設定した。その中で、自分の考えや思いを伝える方法、または困難を克服する方法などを具体的に生徒に学んでほしいと考えた。
	使用した支援機器等教材の名称と画像	①PC、②パワーポイント、③デジタルカメラ、④google ドライブ
授業展開	授業展開・支援の手立て	見通しを持つことが苦手であることを考慮し、発表資料の作成に当たっては、全体の枠組み(作成の手順、スケジュール、分量など)を示したり、発言(表出)する箇所を吹き出しで示したりして、課題の全体像がつかめるように工夫をした。
効果・評価	子供の様子や変容および授業の評価	作成の手順とスケジュールをあらかじめ伝え、全体像のイメージを共有した。そのため混乱することなく課題に取り組むことができた。スライドに吹き出しを用意することで、漢字を使って意見や感想を書くことができるようになった。毎回の観察をふりかえり、まとめる作業をすることで、「自分のことを話すのが嫌い」と話していた生徒に変化が見られた。PCやパワーポイントを活用しながら、「アボカドの生命力を伝えたい」という目的に向かい、自分の考えを書いたり、興味ある題材を表現したりする活動に取り組めるようになった。